C4214(0607)

取扱説明書 保管用

白熱灯ペンダント
（傾斜天井付け可能型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのし方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■仕様

品番	適合ランプ
CE-4214	E17PSクリプトン電球（ホワイト） 60W以下×3灯

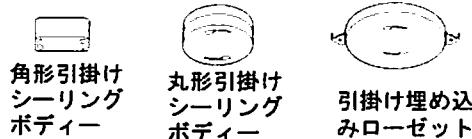
この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け　取り扱い上の注意

すぐ取り付けられます

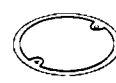
角形引掛けシーリングボディー

丸形引掛けシーリングボディー

引掛け埋め込みローゼット

配線器具の取付工事が必要です（電気店・工事店へ依頼してください。）

配線だけの場合

付属の引掛けシーリングボディーを取り付けてください。

アウトレットボックスの場合

市販の引掛け埋め込みローゼットを取り付けてください。

⚠警告

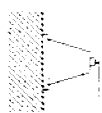
⃠ 破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

破損しているもの　ガタつくもの

⃠ 樹脂製ボックスカバーには取り付けないでください。
★器具の落下事故の原因となります。

❗ 付属の引掛けシーリングボディーの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。電気店または工事店に依頼してください。　**★一般の方の工事は法律で禁止されています。**

⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ 次のような場所には取り付けないでください。　**★器具の落下事故によるけがの原因となります。**

壁面

30°を超える傾斜した場所

不安定な場所

ケースウェイにセットされている配線器具

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⃠ 器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ エアコンの吹き出し口の近くに設置しないでください。
★器具がゆれて破損する原因となります。

⚠注意

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

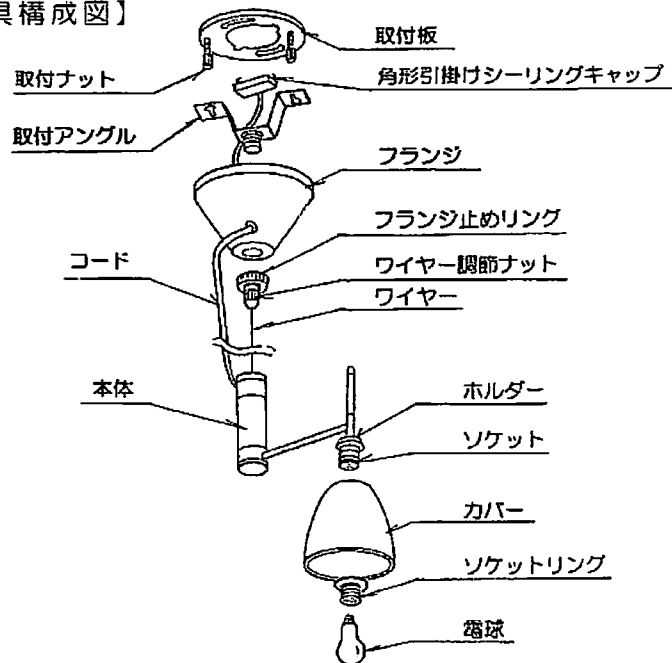
❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。

⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

⃠ ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないで下さい。
★カバーの破損、落下の原因となります。

⃠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

各部の名称

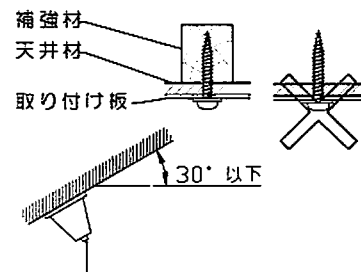
（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【付属品】

- 引掛けシーリングボディー・・・1個
  取り付けは、工事店または電気店にご依頼ください。
- 木ネジ（引掛けシーリングボディー用）・・2本
- 座付き木ネジ（取り付け金具用）・・2本
- ローゼット用ネジ・・・・・・2本
- E17 PS クリプトン電球（ホワイト）60W・・・3個
- 取り扱い説明書・・・・・・1枚（本書）
- 保証とアフターサービスについて・・・・・・・・1枚

取り付け場所の確認

⚠警告 ❗ 取り付け金具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合器具の落下事故の原因となります。

⚠注意 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

⚠注意 取り付けられる傾斜角度は30°以下です。
★取り付け角度を誤ると器具落下による事故、その他の破損や、「けが」の原因となります。

取り付け方

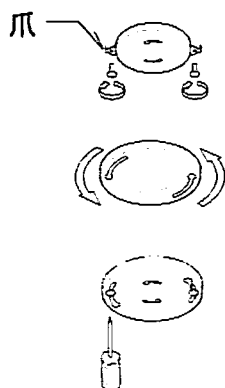
⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●器具を取り付ける前に

①フランジ止めリングを緩めフランジを本体のほうまで下ろします。
②取付ナットを緩めます。
③取付アングルを回転させ、取付板をはずします。

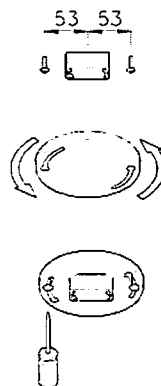
1．取付板のセット

A：引掛け埋め込みローゼットが天井に付いている場合

引掛け埋め込みローゼットの爪を利用して取り付けます。

①引掛け埋め込みローゼットの爪に、付属のローゼット用ネジを落ちない程度にねじ込みます。

②取り付け板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を左に回転させます。

③ネジが溝の中央付近に来たらネジをしっかり締めて固定します。

B：角(丸)型の引掛けシーリングボディーが天井についてる場合

付属の座付き木ネジを利用して取り付けます。

①引掛けシーリングボディーを中心に、左右53 mmの位置に木ネジを3分の1ほどねじ込みます。

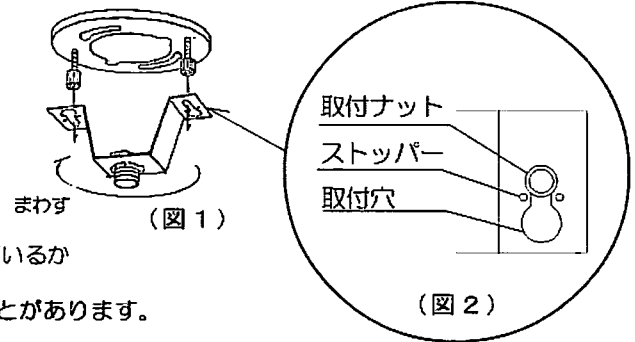
②取り付け板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を左に回転させます。

③ネジが溝の中央付近に来たらネジをしっかり締めて固定します。

2. 取付アングルをセットします。

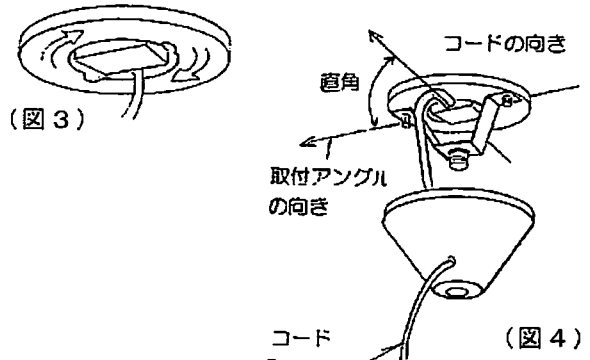
①取付板の取り付けナット（２個）を緩めて取付アングルの取付穴に通します。（図１）

②取付アングルを回転させ、ストッパーを乗り越えた所で取り付けナットを締めこみ固定します。（図２）

（図１）　（図２）

⚠警告 ❗ 取り付けナットがストッパーを乗り越えているか確認してください。
★器具の落下事故、破損の原因となることがあります。

3. 引掛けシーリングキャップをを接続します。

引掛けシーリングキャップを引掛けシーリングボディまたは引掛け埋め込みローゼットに差し込んで時計方向に止まるまで回転させます。（図３）

（図３）

4. フランジを取付板アングルにセットします。

フランジからのコードの向きを、取付アングルに対して直角（９０度）位置になるようにしてフランジ止めナットで固定します。（図４）

コードの向き
直角
取付アングルの向き
コード

（図４）

⚠注意 ❗ コードの向きは必ず守ってください。
★コードを損傷して漏電や感電事故等の原因となります。

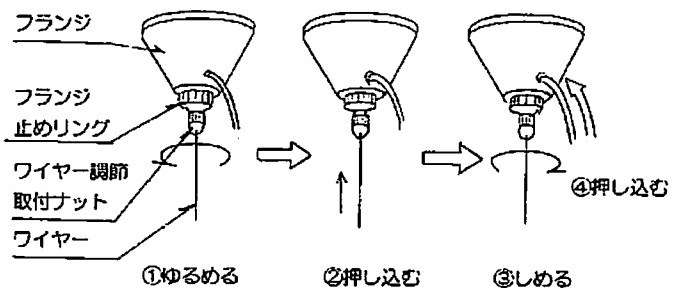
5. ワイヤーの長さを調節します。

ワイヤーを短くする場合（図５）

①ワイヤー調節ナットをゆるめます。

②ワイヤーをフランジ内に押し込み長さを調節します。

③ワイヤー調節ナットを締め込み確実に固定してください。

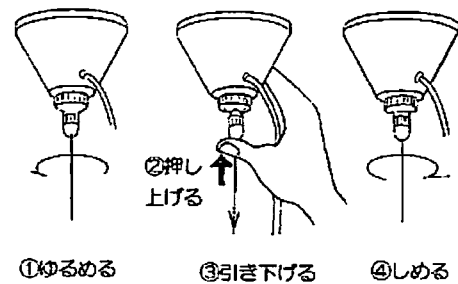
④あまったコードはフランジ内に押し込みます。

ワイヤーを長くする場合（図６）

①ワイヤー調節ナットをゆるめます。

②ワイヤー調節ナットを押し上げながら、ワイヤーを引き下げて長さを調節します。

③ワイヤー調節ナットを締め込み確実に固定してください。

ワイヤーを短くする場合（図５）

ワイヤーを長くする場合（図６）

7. カバーを取りつけます。

①ソケットリングをカバーの下から差し込んだ状態で持ちます。

②片手でホルダーを押さえながら、ソケットをカバーの穴にくぐらせ、ソケットのねじ部セットリングをねじ込みます。（図７）

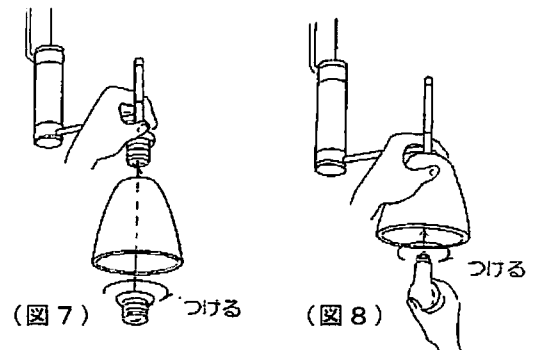
⚠注意🛇 セットリングは必要以上に締めこまないで下さい。
★カバーの破損の原因となります。

🛇 ヒビの入ったカバーや、一部がかけているカバーは使用しないで下さい。
★カバーの落下事故の原因となります。

8. 電球のセット

●片手でカバーを押さえながらカバー下から手を差し入れて電球をソケットにねじ込みます。（図８）

⚠注意🛇 電球は乱暴に取り扱わないで下さい。
★電球割れなどの事故の原因となります。

（図７）　（図８）

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

●電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、または
ハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。　★感電事故の原因となります。

●電球は乱暴に扱わないでください。　★電球が割れてけがをする恐れがあります。
●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると、異常加熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

◆電球の交換

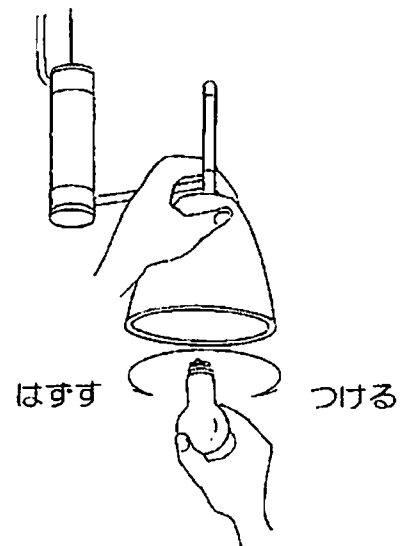
1．スイッチを切ります。

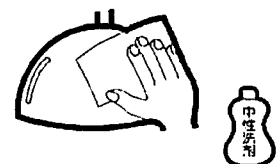
2．カバーの下から手を差し入れて
電球を交換します。

⚠注意

❗電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れなどの事故の原因となります。

❗カバーにヒビが入っていたり一部が欠けている場合には、
ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。

❗電球をはずした際、カバーががたついていないか確認
してください。がたつきがある場合には、セットリン
グを絞め直してカバーを固定してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。